

## 埼玉県理容美容専門学校の3つのポリシー

### 1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

地域社会に貢献できる実践的職業人としての基礎的な知識・技能と資格を身に付け

た人材を育成する、本校のディプロマポリシーに基づき、以下のような入学希望者を広く求め期待します。

- 1 建学の精神を理解し、学則を遵守できる人
- 2 理容師・美容師の国家試験を取得して業に就く意志のある人
- 3 美と健康に興味を持ち、業を通じて人を笑顔に、人を幸せにしたいという、おもてなしの心と奉仕の心を持って行動できる人

### 2. ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

埼玉県理容美容専門学校はその建学の精神に則り、理容師・美容師に必要な専門技能の習得を通じて「地域社会に貢献できる健全な職業人」を育成します。

また、地域社会や産業が抱える様々な課題を見出し、それらの問題に柔軟に対応できる能力を身に着けるとともに、地域社会の一員であるとの責任を自覚し、実践的に活動できる人材を育成します。

そのために、卒業時に身につけるべき能力を次の通り定めます。

- 1 理容・美容のそれぞれの分野の、専門知識と技能及び実践的な技術を習得し、社会人として必要な基礎力を身に付ける。
- 2 必要な専門技術を、将来にわたって学び続けるために、自ら学習する能力と習慣を身に付ける。
- 3 様々な課題の解決に向かって、自ら考え、実行できる実践力を身に付ける。
- 4 □地域社会の一員であるとの自覚を持つとともに、指導力と人間力に富んだ人材として、自主的に地域社会の課題解決に向かって、その役割を果たせる能力を身に付ける。

### 3. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

埼玉県理容美容専門学校は、本校のディプロマポリシーに則り、身に付けるべき能力の醸成に努めるため、次のようなカリキュラム編成の方針に基づいて教育を実施します。

（編成方針）

- 1 基礎的な、知識・技能の習得を重視し、習得目標の設定時期及び学生の理解度、習熟度を確認しながら、卒業時に必要な知識・技能と人間力を身に付けるための、段階的なカリキュラム編成を行う。
- 2 講義により基礎から応用までを学びながら、実験・実習・演習を重視し、識と実習のバランスを考慮しながら、専門的な実践力を身に付ける、カリキュラムを編成する。
- 3 地域社会において実践的に活動できる人材を育成するため、社会で活躍している外部人材との連携授選、自治体や企業との連携や演習、製習とインターンシップを組み入れたカリキュラムを編成する。
- 4 急激な社会の変革期において、変化に対応できる人材を育成するため、カリキュラムの更新、改訂を可能な限り実施する。

以上のカリキュラム・ポリシーを通して、職業実践的な専門技術や資格を取得するとともに地域社会から求められる人間性の向上や社会の一員としての責任を自覚し、自ら学び続ける能力と姿勢を涵養する。